

本単元で育む主な情報活用能力

B-STEP4, D-STEP4

E-STEP4, I-STEP4

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

・幼児の遊びの意義を踏まえ、幼児との関わり方を工夫する。

（学校図書館等の活用でつきたい力）

・インターネット上の情報に整合性がないものがあることを押さえて、図書資料とインターネットの情報を見比べ評価し、活用する。

・調べたものを設計図により表現する。

単元における学習の展開（全7時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> 概要説明 <ul style="list-style-type: none"> 「幼稚園児が楽しく遊べるおもちゃを作ろう」 ○幼児のおもちゃが月齢にあったものである ○持ち運びが容易である ○保育実習時に幼児に順位付けをしてもらう ○製作時や使用時にけがをしないもの ○費用面で高額にならないもの 以上の5点を留意点とする。
第2次 (5時間)	<ul style="list-style-type: none"> おもちゃの製作（☆）（本時）
第3次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> 評価、ふりかえり <ul style="list-style-type: none"> ○自分や他者が作ったおもちゃの評価を行う。 ○実際に遊んでみて良い点や改善点を確認する。 ○他者の評価を踏まえて改めて自分のおもちゃを評価する。 ○本単元のレポートを作成する。

本時のねらい

幼稚園児が楽しく遊べるおもちゃを作る。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	1. 前回の学習内容、今後の予定を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・前回までの振り返り ・計画の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・司書教諭と連携し、幼児の月齢ごとの特徴がわかる本や、生徒が扱いやすいおもちゃの作り方の本など事前に市立図書館などレファレンスを行い、複数準備しておく。
展開 (40分)	2. 自分の決めた計画通りに各自が製作を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ※おもちゃを作るうえで次の点に注意する。 ・月齢に合ったおもちゃになっている。 ・興味を引くものである。 ・製作時にけが等の心配がない。 ・幼児が使用時にけが等の心配がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作を進めながら途中で困り感が出た時に図書資料に戻れるよう、図書資料を置く場所や制作場所などの配置を工夫する。
まとめ (5分)	3. 本時の振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート記入 ・諸連絡、まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価シートを使い、良かったところ、気付いたところをそれぞれ書かせる。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

今回の単元は、設計から製作手順や製作にかかる時間・おもちゃの製作の意図までを生徒が主体的に考える展開を行った。製作が始まると、教員は生徒がさまざまな媒体を活用して、必要な知識を得ることができるような工夫と個別の助言とフォローに回り、生徒は自分の計画や進捗状況に合わせた授業が可能となった。



図書資料と1人1台端末を同時に活用